

埋文で大茶会

この秋、



©京都市指定文化財
黒織部沓茶碗（京都市蔵）

観覧無料！

〔平成30年〕

9/29〔土〕

9:00 ▶ 17:00

11/25〔日〕

大分県立埋蔵文化財センター企画展

大友氏の栄華Ⅱ

豊後府内に

花開く雅の世界

第33回国民文化祭・

おおいた2018

第18回全国障害者芸術・

文化祭おおいた大会

おおいた
大茶会

主催：大分県立埋蔵文化財センター 後援：FM大分、NHK大分放送局、OAB大分朝日放送、OBS大分放送、大分合同新聞社、J:COM大分ケーブルテレコム、社団法人茶道裏千家淡交会大分支部、社団法人表千家同門会大分支部、TOSテレビ大分（五十音順） 協力：大分県立先哲史料館、大分市教育委員会、京都市、堺市文化財課、西寒田神社、自性寺
会場：大分県立埋蔵文化財センター BVNGO 大友資料館内 開館時間：9時から17時（入館は16時半まで）休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は次の平日）住所：〒870-0152 大分市牧緑町1-61 TEL：097-552-0077 FAX：097-552-0070 交通案内：日豊本線「牧駅」下車後徒歩6分、大分バス大分駅前6番乗り場「一里塚」行き「牧」バス停下車後徒歩2分、駐車場大型バス駐車可能、普通車200台程度駐車可能

大友氏の栄華Ⅱ 豊後府内に 花開く雅の世界

今から約 450 年前、南蛮貿易で栄えた「豊後府内」は西洋にも名前が知られた国際貿易都市でした。府内の「市」は大友館を中心に道路で碁盤目状に区画されており、これは京都の街並みを模したものとされています。大友館前のメインストリート沿いには多くの町屋が立ち並び、その地点の発掘調査ではいろいろな生活道具とともに茶碗や灰匙、花入などが出土しています。これは町屋に住む人々が、もの作りや商売だけを行っていたのではなく、茶道や香道などの文化的な生活にも親しんでいたことを示しています。

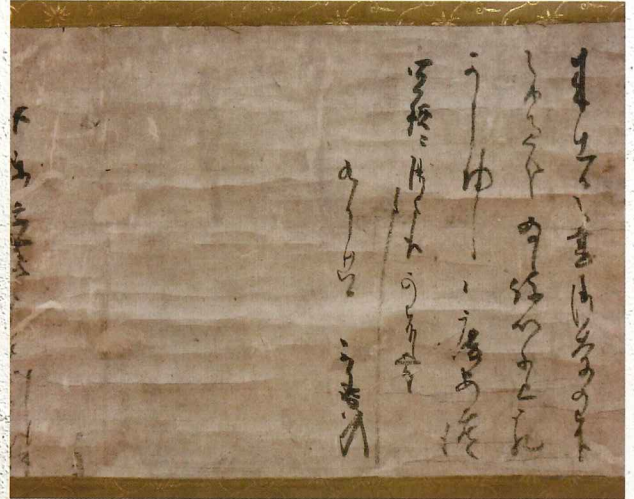
一方、豊後の領主である大友宗麟は、かの千利休からも「中々数寄」と評されたほど、茶の湯に深く傾倒した戦国大名でした。

今回の企画展では、遺跡から出土した茶道や香道の道具、大友宗麟に関連する茶の湯の資料を紹介し、豊後府内を舞台として花開いた雅な文化を繙きます。

※イエズス会宣教師の記録やリス・フロイスの『日本史』では、「市」を「まち」と読んでいます。ここでは、府内の町を表記するのに、「市」を使用しています。



黄金の茶室（復元・京都市蔵）



千利休書状（個人：大分県立先哲史料館寄託）



旧本能寺跡出土瓦（京都市蔵）

～埋文講演会～

埋文
講演会 2

豊後府内と茶の湯Ⅰ
講師：降矢哲男氏（京都国立博物館工芸室研究員）
日時：10月21日（日）13：30～17：00

埋文
講演会 3

豊後府内と茶の湯Ⅱ
講師：小野正敏氏（国立歴史民俗博物館名誉教授）
日時：11月17日（日）13：30～17：00

会場はいずれも平和市民公園能楽堂（〒870-0924 大分市牧緑町1番30号）

主な展示品

- 京都市弁慶町・中之町・下白石町遺跡出土陶磁器（京都市蔵）
- 大阪府堺環濠都市遺跡出土陶磁器（堺市文化財課蔵）
- 『大友興廃記』（大分県立図書館蔵）
- 「秀吉公至大阪被移御座為御祝儀」（古文書・大分市西寒田神社蔵）
- 住吉廣行筆「千利休像」（大分県中津市自性寺蔵）
- 大友氏館跡・中世大友府内町跡出土遺物（大分県立埋蔵文化財センター・大分市教育委員会蔵）



大分県立埋蔵文化財センター

●休館日 年末年始(12/28～1/4)・月曜日
(月曜日が祝日と重なった場合は、翌平日を休館とする)

●利用時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

TEL 097-552-0077 (代)
FAX 097-552-0700

〒870-0152 大分県大分市牧緑町 1-61(旧芸術会館)
<http://www.pref.oita.jp/site/maizobunka/> @oita.maibun

観覧無料！

考える！
学びまくる！

豊の国考古館

探る！
発掘する！

BVNGO大友資料館

遊ぶ！
感じる！

歴史体験学習館